

三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjodetsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

私の地元は三條市の隣で、「べっいん」や「きようむしよ」という言葉は、子供のころから知っていました。家での会話で耳にしたり、機会あるごとに親に連れてこられたからです。

連れてこられたある日は、境内一面にフリーマーケットが出て、多くの人であふれていました。親はバタバタしていたので、子ども向けの工作コーナーに連れて行かれました。まだ昼敷きだった旧御堂付近に長テーパーを並べて、割り箸のゴム鉄砲やブンブンゴマなどを作った気がします。他の子供に作り方を教えてあげたり、競い合ったりして閉会まで遊びました。

別の日には、他の子供たちと一緒に同朋会館に泊まりました。みんなで銭湯に行ったり、若い職員と鬼ごっこやプロレスごっこをしてもらいました。本堂では子供二人で手をつないで柱に抱きつき、その大きさにビックリしました。そして木登りが得意な子が柱を登ろうとして、途中で大人に止められたこともありました。天井を見上げればボールや何か引つかかっているのも見えて、不思議でたまりませんでした。

別院や教務所がどういう所か分かるようになったときには、子どものころ体験したあの感覚

は感じる事が出来なくなっていました。意味も分からず面白いと感じたり、大騒ぎのあと疲れて満たされていたり、想像を超えることに出口くわしてワクワクしたり、そのようなことはもう感じません。その代わりに、本堂の静けさや重さ、同朋会館の刺すような床の冷たさを、感じるようになりました。

もし子供のとき別院に来ていなかったら、私は今のように別院に通うことはないと思います。本堂や同朋会館を見て、楽しかった昔の思い出を感じるから、別院に通い続けられるのだと思います。

意味や意義はあと考えよう！これは、何かを始める時に私自身に言い聞かせている言葉です。何のためにしているのか？結果がどうなるか？などと考えずに、とりあえず出来ることはしてみよう。

いま私が親の立場になりました。子供がこれからのような人生を歩むか分かりませんが、私が引退する頃になったら「〇〇のとき別院に行ったことを覚えているか？」などと聞いてみたいと思っています。

塚本 智秀氏 (第十八組等連寺)

▲第十八組の御煤払い奉仕団に参加する塚本智秀氏。今年
は朝の人生講座の法話もしてくださいました。

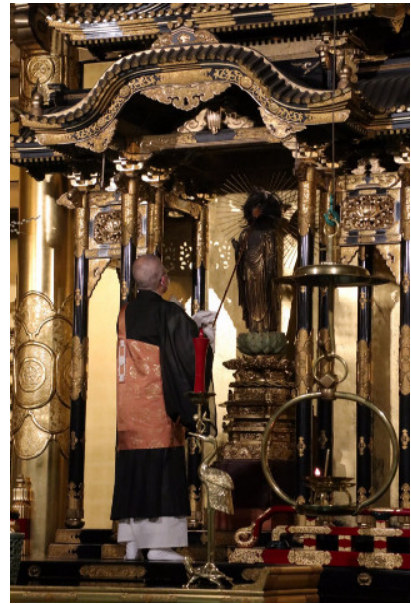


○次回の「三條別院に想う」は、

木村 邦和氏 (第十三組専行寺) より

ご執筆いただきます。

▲次回は教区教化委員会企画委員長の木村氏。定例法話で「仏教入門講座」という提案をいただき、別院教化審議会で検討し、入門講座「釈尊伝」(詳細は記事参照)を開催することとなりました。その想いを中心に語っていただきます！



【輪番・浄圓寺住職による御本尊・宗祖真向御影の御煤払い】

年の暮れも迫り、だんだんと気温が下がって冬のらしい気候になってきました。そんな中、十二月七日(土)・八日(日)に、毎年恒例のおすすはらいが行われました。今年は前日に雪が積もり、厳しい寒さになりましたが、多くの方々に参加していただきました。初日は、第十八組の推進員・門徒会による研修会で松澤孝然氏(第十九組浄林寺)を講師に招いての法話、そして参加者の皆さんとの座談会を行い、その後の懇親会では翌日の奉仕

研修に向けて鋭気を養いました。翌日は庭講・有志の会を含め七時から本堂でお朝事にお参りし、極寒の本堂で冷え切った体を列座特製の具材たっぷりの豚汁で温まって頂きました。九時からの奉仕作業では、まず輪番・浄圓寺住職による御本尊・宗祖真向御影の御煤払いの儀を執り行い、その後参加者で本堂・旧御堂・書院と清掃を行いました。毎年参加されている方を中心に、見事なチームワークであったという間に院内がピカピカになりました。三条別院では十二月三十一日夜の二十二時から旧御堂を開放しており、深夜零時から本堂で修正会の法要が勤まります。奉仕団の皆さんのおかげで綺麗になった厳かな堂内で年を越してみませんか？

(小原)



【新名物？御煤払いでは、列座の手作りの豚汁がふるまわれる】

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日時 一月二十八日(火) 午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讚 淘五

和讚 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

小原 暁(三条別院列座)

『歎異抄』に聞く『第七章』

◆今後の講師一覧

▲二月からは定例布教の講師が一章ずつ担当します。詳しくは次回ご案内いたします。

▲法話の記録【廣河が『歎異抄』に聞く】をHPで更新中です。 <http://sanjobetsuin.or.jp/>



定例法話会のご案内

毎月十三日の前門首のご命日(両度の命日)に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。一月は休会となりますが、二月からは三条真宗学院で仏教学の講師をされている富沢慶栄氏による仏教入門講座「釈尊伝」が始まります。



- ◆日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
午後一時三十分より(二時間程度)
- ◆場所 三条別院 旧御堂
二月～四月(全三回)
富沢慶栄氏(第二十一組超願寺)
- ◆講題「釈尊伝―仏教入門講座―」
- ◆聴講無料、どなたでもご自由にお参りください。
- ◆古代インドに王子として生まれた釈尊は、何に悩み、何を考え、何を悟ったのか? 全三回でお話しいただきます。

その他の講座案内

○別院声明教室(全五回・途中参加可能)

【月一回、午後六時～八時】

一月は休会です。二月からの講師は次号でご案内します。

○別院書道教室(生徒急募!!!)

【月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時】

講師 木原光威氏(新潟県書道協会理事)

月謝 三二〇〇円(テキスト代含む)



随時募集中

○庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか?

○花講・三条別院有志の会

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注)

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(公絵像)をお迎えして、聞法会を開催しませんか? 輪番と随行一名でお勤めと法話を行います。

◆編集後記◆

弥彦神社には二年参りで毎年二十万人以上が参拝に訪れるという。東三条駅から弥彦駅まで深夜の臨時列車もでるといふ。ちなみに三条別院の除夜の鐘の参詣者は毎年二百名程度。参詣者は約千分の一。先般、お取り越しの露店が弥彦の菊祭りに流れているという情報を聞き、お取り越しの後に偵察(?)に行ってみた。ただ、十一月も半ばを過ぎていたため、それほどでもなかった。ただ、平常時開店している茶屋があったり、土産物屋があったり、三条別院にもそれは欲しいものである。さて、三条別院の規模と弥彦神社の規模を比べるとどうなのか? 三条別院は「別院」であるので、「東本願寺」と弥彦神社を比べてみる。すると圧倒的に東本願寺のほうが大組織である。さてさて、資本金三億円以下、従業員三百人以下を中小企業と言うそうだが、三条別院は本山の別院であるので、中小ではなく大企業の傘下の……? そんな風に別院の規模を考えているが、それは当然教化事業のことが念頭にあり、本山の予算で土曜のゴールデンタイムに全国放送で別院を含めたCMをしてくれたら……。旅行誌に西本願寺が見開き二頁で掲載されていて、「周辺スポット」として東本願寺が極小で載っていたのを見た妻(京都に行ったことがなかった)が、「みんな本山本山というけど、東本願寺って小さいんじゃないの?」と聞いてきた。「それは西本願寺が高い広告料を払っているからだ」と怒った。そんなことを考えながら、やはり三条別院に必要なのは、顔が見える方たちへの、地道な声かけであるように思う。除夜の鐘に来ませんか?(斎木)

三条教区通信

第148号

発行日 2019年12月25日
発行者 三条教務所長 森田成美
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
Tel (Fax): 0256-33-2805 (2847)
Email: sanjo@higashihonganji.or.jp
Webサイト: http://sanjobetsuin.or.jp/

謹んで新年のご挨拶を申し上げます
旧年中の御厚情に感謝いたしますとともに
本年もよろしくお願ひ申し上げます
三条教務所・三条別院職員一同

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

人も草木も虫も
同じものは一つもない
おなじでなくて
みな光る

えのもと えいち
榎本 栄一

While men and plants and insects all differ,
the Buddha's inner light shines forth in all.

Enomoto Eiichi

三条教区災害対策委員会のお知らせ

地震・台風・豪雨により被害を受けられた皆様に
謹んでお見舞い申し上げます

このたびの台風19号により、お亡くなりになられた方に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

このたび三条教区では、下記の通り教区内に救援金を勸募しております。(寺院へは別途通知既送)

何卒ご理解ご協力賜りますようお願いいたします。

台風19号災害救援金口座

【郵便振替口座番号】00680-7-1964

【加入者名】真宗大谷派三条教務所

※通信欄に台風19号救援金と明記ください。

【受付期間】2020年1月末日まで

【送金先】受付期間終了後、全額を宗派救援金口座へ送金いたします。

災害支援実行委員会の活動にご協力ください

主に夏の保養事業を活動内容としております災害支援実行委員会の活動資金収入であります災害救援・復興カンパ金につきまして、2019年度においても引き続き勸募いたしております。今後とも皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

また、宗派では困難な状況に直面している被災地や被災者の方へ1日も早く宗派救援金をお届けするため、災害

の種類や発生の有無に関わらず、「災害救援金口座」を設けて対応しております。何卒ご協力ください。

真宗大谷派災害救援金口座

【郵便振替口座番号】00920-3-203053

【加入者名】真宗大谷派

研修会のご案内

■ 教学研究会

案内 既送

- ◆日時 ①2019年11月18～19日(月火)済
②2020年3月2～3日(月火)
③2020年5月11～12日(月火)
各回 第1日目 13:30～18:30(後、懇親会)
第2日目 10:00～17:00

- ◆場所 三条別院
- ◆講師 藤場俊基氏(金沢教区常讃寺)
- ◆内容 教行信証 化身土巻
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 2,500円/1日(懇親会費別)
年会費の場合 10,000円(全日分、懇親会費別)
- ◆教師陸補 教師陸補に必要な受講証(第2種)が発行される研修会です(2日間参加が必要)。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西村)

■ 三条教区推進員教習

案内 既送

- ◆講師 細川好圓氏(第17組護念寺)
- ☆後期教習☆
- ◆日時 2020年2月22日(土)～24日(月)
- ◆場所 東本願寺同朋会館(京都)
- ◆対象 各組同朋の会推進講座および教区推進員教習の、前期教習を修了した方
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西村)

■ 児童指導者研修会

案内/申込書 後送

- ◆期間 2020年3月12日(木)～13日(金)
- ◆場所 通覚寺(東京教区 東京1組)
- ◆講師 堀 秀隆氏(東京1組 來應寺)
- ◆対象 児童教化に関心のある方
- ◆参加費 15,000円(宿泊・懇親会費等含む概算)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 教区女性研修会

案内 同封

- ◆期間 2020年3月16日(月) 10:00～15:30
- ◆場所 三条別院
- ◆講師 三明智彰氏(九州大谷短期大学学長)
- ◆テーマ 「正信偈に学ぶ」～人身受け難し～
- ◆講題 「出遇いなおしー正信偈に聞く」
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 1,500円(昼食・茶菓子代含む)
- ◆申込先 お手次の寺院教会または女性研修会部門スタッフもしくは三条教務所へ3月9日(月)まで
- ◆問合せ 三条教務所(担当:結城)

② 三条教区教化重点施策「報恩講話活性化プロジェクト」／「ありがとうを、誰にいますか。」親鸞聖人にあいにく。報恩講。

■ 真宗教団連合新潟県支部 寺院研修会 **案内 再送**

- ◆ 日 時 2020年1月21日(火)
14:00(13:30開場)～16:30
- ◆ 場 所 セレモニーホール飛燕
燕市杣木 3215 TEL 0256-66-5151
- ◆ 講 師 瓜生 崇氏(京都教区玄照寺)
- ◆ 対 象 どなたでも
- ◆ 参加費 無料
- ◆ 申込み 締切を過ぎましたが当日参加可能です。ただし満席の場合はご容赦ください。

■ 新潟地区女性研修会報告

女性研修会部門スタッフ 第24組専明寺 松木祐子



会場をお借りした第22組等覺寺 村上市

5月14日(火)、村上市の等覺寺様に於いて、講師に齊藤研先生(第15組正樂寺)をお迎えし、「往生極楽のみち」という講題のもとお話を頂きました。等覺寺様の御門徒をはじめ、遠路遙々沢山の方からお越し頂きました。

今回は、『煩惱と迷いが消えず欲望も多く、怒りや妬みなど負の心情に満ちている我々凡夫が凡夫のまま救われる道』について考えさせて頂きました。

このように聞くと難しそうに感じてしまいますが、先生の講義は、誰にでもある身近な話に置き換えて、時に笑いも盛り込んでお話していただきますので、気軽に楽しく参加させて頂いています。



講義の様様 等覺寺本堂

講義の後は地元割烹の美味しいお弁当、班別座談と楽しみが続きます。班別座談では講義を受けての感想や、講

義に関係なく趣味の話や家庭生活の悩みなど、女性研修会にふさわしく次々と話題が出るのであつという間に時間が過ぎてしまいます。

座談会で出た感想や質問は研修会スタッフが発表し、それを受けて午後の講義で先生が丁寧にお話してくださいました。齊藤先生、等覺寺様、ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

■ 保育講習会報告 11月30日開催

認定こども園柏崎中央幼稚園 関沢 恵



講師の富岡量秀教授(大谷大学)

真宗保育とは何かを改めて確認できた講習会でした。“ほんとうの、ほんとうに大切なこと、大切にすべきことをみつけ続ける力を育み続ける保育”日々の自身の保育現場を振り返ることができました。

社会環境の変化で、子どものみならず、私達自身も“ほんとうに大切なこと”を見失っているように感じています。便利さは工夫や想像力、忍耐を欠き、ありふれた情報は真の感覚をゆるがしているように思います。子どもと保護者、教師の関係のバランスが微妙にくずれ、子どものためというより、保護者のための保育になってしまっていないかと気づかされました。



参加者の様子 三条別院旧御堂

子ども主体であるために、子どもの気持ちが外に向いていることが大切と考えます。それはその子の安心安定によるもので、母子関係はもちろんのこと、園生活における教師との関係も重要です。私達の園では言葉の使い方に気をつけ、肯定的な関係を築くよう心がけています。唯我独尊、子どもも

教師も互いの良い点でつながりあえる関係が目標です。

♪アンパンマンマーチは意味深い一曲です。「何のためにうまれてきたか」、今の私は、自分に与えられた課題に向き合いながら、成長し続けることと思っています。自分にとって都合のいい人・物事もあればそうでないこともある中で、自分主体に受けとめて成長したいものです。

真宗保育の実践を通し、子どもに育てられている自分に感謝しています。ありがとうございます。

駐在教導のつぶやき

西村昌桐

しばらく前になりますが、10月16日に越後みしま 竹あかり街道というイベントに第11組浄福寺の当院さんがブースを出店し、私もイベントに参加させていただきました▼というのも、教区仏教青年会に「おてらい講」という仏教支援事業があり、幹事の村手さん、支援員の草間さんと奥さん、天兒さんと私でブースのお手伝いに行ったのでした▼事の起りは「なんかやろうよ」というあっさりしたものでした▼支援事業「おてらい講」を立ち上げたものの、去年は実施無し。予算も人的サポートも付く事業ですが認知度が低いのかなかなか手が挙がりませんでした▼そこで話を持ちかけたのが第11組浄福寺の山崎超(まさる)さんだったのでした▼「やりましようか」▼行動力抜群の超さんはすぐに快諾！「やるなら地元で関わっているあかり物語へのブース出店が良い！」との事で開催はあっさり決まったのでした▼しかし、内容決めはアレコレと難航▼あかり物語は地元の一大イベントです。商店ブースもある中、他と競合せずアピール出来る事はなんなのか▼「来てもらう人に超を、浄福寺の当院を知ってもらう機会にしたらどう？」と草間さんの意見から法語カードを兼ねた浄福寺のアピールカードを当院さんが直接渡す事▼「屋台をするなら仏教の言葉を知ってもらえる様なゲーム、煩惱射的はどう？」と村手さんの意見から射的ゲームで当てた的の言葉の紹介と景品にお菓子の掴み取り、最後に当院さんとお話して、浄福寺の法語カードを渡すというブースが完成したのでした！▼当時はあいにくの雨模様でしたが、ブースは大盛況▼合間にイベントスタッフの地元の皆さん、ご門徒さんの声を聞かせていただきました▼「当院さんにはイベント会議や寄り合いに顔を出してもらっていて、仲良くさせてもらっている」「お寺は地域に住む人を繋げてくれる存在、これからもっと重要な場所になってくると思いますよ」「頑張ってるね」等、期待や激励の声が多く聞かれました▼浄福寺の当院さんも「夢だったブース出店がやっと叶った、本当にやって良かった」と終了後、しみじみと語っておられました▼「寺離れ」とよく言われますが、外に出てお話を聞いてみると、地域の中でお寺との繋がりに期待している声、よろこんでおられる声が聞こえてきます▼将来、この地から超さんと共に教えを聞く御同行が生まれられる事を願って止みません。

教務所からのお知らせ

◎「教区及び組の改編に関する三条・高田教区地方協議会からのお知らせ」

本年6月に開催しました第1次教区改編説明会、その後の各組所長巡回にいただいたご意見を基に地方協議会及び教区改編委員会を重ね、協議を進めてまいりましたので、その経過を本号同梱の別刷「地方協議会からのお知らせ」にてご報告いたします。

三条教区・別院ウェブサイト sanjobetsuin.or.jp【別院だより・教区通信】のコーナーにPDFファイルを掲載します。

◎教務所事務休暇のお知らせ

2019年12月28日(土)から2020年1月7日(火)まで年末年始につき教務所事務休暇とさせていただきます。

また、2020年2月6日(木)から7日(金)まで教務所・別院職員研修のため教務所事務休暇とさせていただきます。

緊急連絡は三条別院(Tel. 0256-33-0007)へ願います。

◎教区・別院行事予定 日程は変更される場合があります。

2020年		
1/8(水)	15:00 18:30	声明講習会部門会議 別院書道教室
1/14(火)	15:00	夏の集い執行部会議
1/15(水)	15:00	別院教化審議会
1/16(木)	14:00	連絡協議部会
1/17(金)	14:00	企画委員会
1/19(日)	8:30 13:00 15:00	和菓子の起源を学ぶ ～和菓子と朝廷・武家文化の関わり 和菓子をつくろう 推進員教習部門会議
1/20(月)	15:00	教化部会
1/22(水)	14:00 15:00 18:30	災害支援実行委員会 子ども奉仕団会議 別院書道教室
1/23(木)	14:00	真宗学院指導会議
1/27(月)	13:30	宗祖御命日速夜法要
1/28(火)	10:00	宗祖御命日中法要
1/29(水)	14:00	御依頼適正審議会小委員会
1/30(木)	17:00	御坊市執行部会議
2/5(水)	15:00	保育研究部会
2/6(木)		～7日(金) 教務所事務休暇
2/12(水)	18:30	別院書道教室
2/13(木)	10:00 16:00	別院庭講・定例法話 推進員連絡協議会執行部会
2/17(月)	9:30	推進員連絡協議会役員会・新年会
2/19(水)	14:00	企画委員会
2/20(木)	14:00	改編地方協議会財務部会 於高田
2/25(火)	14:00	改編地方協議会
2/26(水)	18:30	別院書道教室
2/27(木)	13:30	宗祖御命日速夜法要
2/28(金)	10:00	宗祖御命日中法要

新潟親鸞学会からのお知らせ

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Email chogonji@nifty.com